

(講座) 分子創薬科学 (研究室) 感染分子薬学
(氏名) 小林信之 (職名) 教授

【研究テーマ】

1. インフルエンザウイルスベクターのワクチン開発への応用に関する研究
2. 抗ウイルス剤の探索に関する研究
3. ウイルスと宿主相互作用に関する研究
4. 微小管結合タンパク質 MIP -T3 の機能解析に関する研究
5. 微生物を用いた新規環境評価法の開発に関する研究

【論文発表】

A 欧文

(A a) 原著論文

1. Saito, M., Murata, T., Watanabe, K., Kawakami, K., Suzuki, M., Koji, T., Puri, R. K., Kitazato, K. and **Kobayashi, N.**

Adenoviral vector-mediated gene transfer of IL-13Ralpha 2 chain followed by IL-13 cytotoxic treatment offers potent targeted gene therapy for cytotoxic-resistant cancers. **Int'l J. Cancer** 116, 1-8 (3.545)

2. Arima, K., Nishida, N., Sakaguchi, S., Shigematsu, K., Atarashi, R., Yamaguchi, N., Yoshikawa, D., Yoon, J., Watanabe, K., **Kobayashi, N.**, Mouillet-Richard, S., Lehmann, S. and Katamine, S. Biological and Biochemical Characteristics of Prion Strains Converted in Persistently Infected Cell Cultures **J. Virol.** 79, 7104-7112 (5.942)

3. Salda, L. T. D., Parquet, M. D. C., Matias, R. R., Natividad, F. F., **Kobayashi, N.** and Morita, K. Molecular epidemiology of dengue 2 viruses in the Philippines: Genotype shift and local evolution. **The American J. Trop. Med. Hyg.** 73, 796 – 802 (2.105)

(A b) 総説

(A c) 著書

(A d) 紀要

B 邦文

(B a) 原著論文

(B b) 総説

(B c) 著書

(B d) 紀要

【学会発表】

A 国際学会

(A a) 招待講演, 特別講演, 受賞講演

(A b) 一般講演

1. K. Adachi, K. Tamura, T. Takahashi, A. Shimochi, N. Nagata, K. Watanabe, K. Kitazato and **N. Kobayashi** : Development of an AIDS Vaccine Using Recombinant Influenza Virus

13th International Congress of Virology San Francisco

2. K.Watanabe.,I.Asano.,K.Kitazato and **N.Kobayashi** : Roles of Hsc70 in Life Cycle of Influenza Virus 13th International Congress of Virology San Francisco 2005

B 国内学会

(B a) 招待講演，特別講演，受賞講演

(B b) 一般講演

- 1、布施隆行、渡邊健、北里海雄、小林信之：細胞毒性を利用した HIV-1 プロテアーゼ阻害剤評価法の確立と細胞毒性機構の解明 平成17年度日本生化学会九州支部例会 福岡
- 2、富盛祐司、斉藤誠、竹平恭子、渡邊健、北里海雄、小林信之：ヒト細胞における MIP-T3 の発現解析 平成17年度日本生化学会九州支部例会 福岡
- 3、下地章慶、足立圭、横山寿子、永田恭介、渡邊健、北里海雄、小林信之：キメラインフルエンザウイルス感染マウスにおける免疫反応のウエスタンブロット法による確認 第42回日本ウイルス学会九州支部会総会 那覇
- 4、ラフィディナリブ・エリス、藤本聡志、渡邊健、北里海雄、小林信之：微生物群集構造解析による諫早湾環境経時的変動の解析 第42回日本ウイルス学会九州支部会総会 那覇
- 5、初田康、藤本聡志、Herizo Rafidinarivo,渡邊健、北里海雄、小林信之：細菌16SrDNAのRFLPによる海洋環境評価法の確立 第42回日本ウイルス学会九州支部会総会 那覇
- 6、浅野郁星、渡邊健、内藤忠相、永田恭介、塚原富士子、丸義朗、北里海雄、小林信之：インフルエンザウイルス M1 蛋白質と宿主因子 Hsp70 ファミリー蛋白質との相互作用解析 第42回日本ウイルス学会九州支部会総会 那覇
- 7、布施隆行、渡邊健、北里海雄、小林信之：細胞毒性を利用した HIV-1 プロテアーゼ阻害剤評価法の確立 第52回日本臨床検査医学会総会 福岡
- 8、足立圭、下地章慶、横山寿子、永田恭介、渡邊健、北里海雄、小林信之：HIV V3 挿入組換えインフルエンザウイルスによる AIDS ワクチン応用への基礎検討 第53回日本ウイルス学会 横浜
- 9、渡邊健、布施隆行、浅野郁星、永田恭介、北里海雄、小林信之：インフルエンザウイルスマトリックスたんぱく質(M1)結合因子、Hsc70no 機能解析 第53回日本ウイルス学会 横浜
- 10、北里海雄、斉藤誠、富盛祐司、竹平恭子、渡邊健、小林信之：微小管結合タンパク質 MIP-T3 の機能解析 第28回日本分子生物学会年会 福岡

【特許】

【研究費取得状況】

【学会役員等】

1. 日本生化学会評議員
2. アポトーシス研究会 幹事
3. 日本ウイルス学会将来構想検討委員会

【過去の研究業績総計】

原著論文（欧文）	85 編	（邦文）	2 編
総説（欧文）	3 編	（邦文）	45 編
著書（欧文）	3 編	（邦文）	43 編
特許	8 件		